十夕日刊
磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

興味を以て見られてゐた 内郷村の選擧

無産派心細し 僅か一名が當選

石城郡内郷村の村議戰は躍進を期待されてゐる無産各派が那邊まで進出するか願る興味を以て見られ居るが八日開票結果は

▲當選者　二二〇佐藤三平▲一六四高橋重吉▲一六二山口辰亥▲一六四小野昇▲一五五島田兼吉▲一四九龜田修造▲一四八湊慶三郎▲一四四南渡正賀留吉▲一三八山崎喜一▲一三三志三一平田良三▲一二八長谷川幾之介▲一二六金子子之松▲一二三鈴木佐市▲一二五猪狩喜平治▲一二〇菅波忠治▲一一八沼田濱之助▲一一三金澤爲喜▲一〇八小松定一郎▲一〇八金澤哲太郎▲一〇七大方達也▲一〇四生田常松▲一〇一久野喜平▲一〇〇石石橋松平▲九三加美山武雄▲八八小南太二男▲七九根本金三郎▲六七井出金次郎▲六六廣瀨貞（社民）

▲次点▲六四岩水清造（社民）四七加藤木誠一郎（大衆）二三小峰竹次（社民）

即ち躍進を傳へられてゐた新興各派は社民常磐支部長廣瀨貞君が僅に六六票を得て辛ふじて當選したのは常磐地方に於ける無産各活の金城湯地として聊か心細い結果であつた是に反し會社側から出馬した十一名は全部當選してゐるのは皮肉な現象である殘る十八名は政民九對九の同數で政友の進出は民政黨の地盤であるだけに珍らしいものがあり今後の村會の分野は中立を標榜してゐる會社系十一名の向背に依つて分れるが有權者四千二百三十二人中當日の有効投票三千八百四十四票で棄權二百二十五といふ僅に五分の好成績であつた。

平町會

鈴木町議の認可次第召集

平町初町會は小學校教員で當選した鈴木照吉氏を待つて直に開く豫定であるが當日の町會は各種委員の選定その他を附議する筈である尙過般金子氏から選擧無効の異議申立があるので當然町會に提案されることゝなるが町會に於いては今日に至つても公然是れが許可されてゐる旅館料理店兼業は宿客の安眠を妨害するなるが有權者四千二百三十二人中當日の有効投票三千八百四十四票で棄權二百二十五といふ僅に五分の好成績であつた。

今夏まで磐中にプールを造る

今夏まで紀念事業完成

相川軍治（政）根本權次郎（民）片寄左京（政）渡邊周平（政）箱崎熊八（民）早川鐵造（政）吉田忠太郎（政）鈴木忠次（政）酒井晉次（政）片寄助次郎（政）吉田久之進（民）作山甚之助（民）若松好太郎（政）佐藤初治（政）根本甚吾（政）

平町磐中では御大典記念事業としてかねて計畫中であつた同校々庭へのプール設置はいよ〳〵設計も出來上がつたので近く着工する事になつたが今夏水泳までには完成せしむる方針であるなほ工費は約三千圓を要する見込である。

大浦村 村議の候補者

大浦村會議員選擧は二十五日執行されるが候補者は定員十二名に對し十五名で左の如し。

▲錦苗代品評會　錦村苗代品評會は六月十日から三日間開催する。

▲四倉座の映畫　四倉町四倉座では十日から平館出張塚原小太郎前編、日活大作時代劇主演澤田清、棘の樂園全、蒲田特作名畫主演岩田祐吉栗島すみ子、三下野郎全を上映する。

平町代表から提出した 旅館の料亭兼業

滿場一致で決議さる

奥羽六縣料理屋組合同盟大會は去る四、五、六の三日間に亘り秋田市に於て開催本縣からは福島、平の市町代表組合から組合代表各二名づゝ出席し大會に於ける本縣代表とし、何れも重要なる役割を演じて來たが大會協議事項として平町料理屋組合から提出した「旅館料理の營業廢止に關する件」（註）旅館兼料理屋は温泉地及び遊覽地を除いては全國に殆んど類例なく然るに平町に於いては今日に至つても公然是れが許可されてゐる旅館料理店兼業は宿客の安眠を妨害する事甚しく殊に風紀が亂れ勝ちである。

以上の理由によつて提出された該案は大會席上萬場一致で可決これが兼業廢止に同盟會の應援を得る事に成功を見たが、この好報を齎して八日歸平した平町代表委員佐藤善次郎、鈴木寅次郎の兩幹部は「平町組合からの提出事項が可決同盟會の應援が得られた事は私共多年の望みが漸く緒に就く事が出來るやうになつたので非常な喜びです今後奥羽六縣同盟會の應援の下に正々堂々初期の目的達成に努力する覺悟です」云々と語つてゐた。

平驛の 取扱貨物

頗る順調平驛貨物取扱ひ所の去月中における取扱ひ貨物の動態から見た昨今の平地方に於ける景況は發送小口取扱ひ五千六百八十三噸で昨年同期に比して八百二十一噸の激減を示してゐるこれかこれは平發電所から出る炭殼輸炭が激減した爲め、木材その他米、酒、味噌、鐵材、機械類等の主要貨物は增加の傾向を見せてゐる、到着小口扱ひ百三十五噸貨切一萬九千九百五四十噸で之又千噸内外の減をしめしてゐるが果實、木炭、肥料、煙草鐵材等は何れも著るしく增加を示してゐる同月は割割に閑散であつたが愈々春蠶の出廻り期に入つた事とて今月は非常な多忙を豫想し準備中であるが一般貨物の動態は頗る順調で平地方が漸次好轉してゐる事が肯かれる。

▲家傳藥で開眼　飯野村大字中山、北郷文雄（十七）は角膜症にて約二ヶ月も治療を受けたが快方に向はず困つてゐた處たま〳〵江名町の金成家傳目藥を用ひた處十日間にて開眼し一家大喜びである因に同眼藥は平町四丁目小野藥店田町宇佐美藥局で販賣してゐると。

大浦村の 村議戰況

大浦村議改選に際し最も激烈な競爭を演じてゐるのは大森及上仁井田の兩部落で民政派より立候補した吉田久之進氏が最も苦戰の狀態にある尙同じ森の大政友派よりの候補片寄助次郎氏も苦戰狀態にあり尙上仁井田早川鐵藏氏も危險狀態であると傳へられるが細谷から名乘をあげた根本權次郎氏も同じ細谷より立候補した相川軍治氏と相にらみ合ひ互に奮鬪を續けつゝあるが双方共激戰を傳へられてゐる

四倉町の 麵業紛擾

解決

四倉麵業組合では昨年から同業者間の紛擾を續けてゐたが此程淺草屋事郡司相之助、浩樂事鈴木茂重の兩氏が仲裁に入り圓滿妥協が成立し組合長に和泉屋新妻惠副組合長松の月佐藤儀助氏が選ばれて就任した。

原町通信

問題化した 無効投票

去る一日原町々會議員の選擧に際し元原町東町に草履業を營み居住せる但野某は本年二月頃双葉郡新山町に轉住せるに係らず原町へ出張して投票せることは確實に違法行爲であるとなし落選議員の岡和田一派より訴願せる爲め端しなくも問題を釀し矯忠孝新議員の資格に波及せるやにて政民兩派の分解作用により何等かの結末に至るべき形勢にて目下早やくも兩派の暗中飛躍となり相當一大問題化せんとするの狀態なり。

▲原町歡送迎會　原町營林署長安藤秀夫氏は今回浪江營林署長に榮轉せるを機とし新任遠藤英之助氏を迎へ來る十日原町岩城屋に於て午後六時より官民合同の大歡送迎會を開催する由。

▲鐵道競技會　仙臺運輸事務所では來る二十七日原町驛構内に於て仙臺、小牛田、白石一關、釜、長町、原町の各驛立候補した相川軍治氏と相にらみ合ひ互に奮鬪を續けつゝあるしめ操車競技會を開催すると。

政黨的に 多事な原町

相馬郡原町に於ける初町會は少壯議員の有意なる手腕家が當選せる結果相當潑溂たる結果を見るべく期待されつゝあるが問題も可成的複雜せることも多々あり特に町長改選問題の空氣濃厚にて其成行は勿論在來に於ける懸案に對し一大衝動を見る可く平町の例に洩れず何等かの有意義なる實現されん事を町民一般は期待されつゝある。

▲原町地方の田植　一般稻苗不足を豫想されつゝありし原町在家の田植は例年より遲るゝ事一旬に及びしも案外懸念されし程にも無く初田植は割合に下流に早やく上流に遲き傾向なりしが漸く五六日頃より十日前後に渡り殆んど全部植付を了せり。

鼻の藥「チクノール」
平五　山野邊藥局

有名なる 萬洲村の水害

相當天下に名をなしたる原町萬洲村の水害は可成多大にて總面積約五町歩に渉り農作物不能となりしと尙ほ石神村大野及び大谷高の倉の諸字は田地流出せるもの約十町歩に及びしと。

▲苗代品評審査　草野村苗代品評會審査は六月十二日神谷村では十三日行ふ審査員は大山技師外二名である。

三丁目山本屋で婦人四名の賭博

平町三丁目山本屋旅館山本みつ（四一）同町鈴木スイ（六〇）外二名は八日夜同旅館二階座敷で花「浪衍して」所謂自然の響、「天合せ賭博開帳中平署青田部長以日や麗かに」天然の日の麗かさが、繪の樣に眼前に彷彿である下に踏み込まれて逐捕された。

▲小學校長即死　石城

郡磐崎村大字藤原第二小學校長磐崎清雄（四〇）氏は去る八日午後四時二十五分頃同村藤原地内三井炭礦專用鐵道線路踏切を後方から驚進して來た運炭列車に氣づかず通行したゝめその刹那誤つて機關車に觸れ無慘の即死を遂げた。

ハガキ集

—（投書歡迎）

風紀紊亂の折柄注意してもらいたい。豊間平間の自動車（但しニュー色のもの）に毎日毎朝眺けてめるが中は中商學生と女學生ばかり、それがぎつしりと乘つてゐる、甚だしいのになると重なり合つてゐる、今の内事件の起らぬ内に學校、警察當局でも手早く取締つてもらいたいと思ふ。

（嫉妬生）

俳句片々（一）

曲水句帖（六月號）

浪衍して天日やうらゝかに　沐冠人

此句は「浪衍して」と切り「天日や麗かに」と二つに區分すれば平易に解釋が出來るのである

濤浪が巨巖に打碎け衍した物凄い響が海濱一ぱいに震はした間もなく音は靜かな浪音に連れ碧空に日輪が天日麗か晴れて寂に似た自然の想像を領れる点である。此句を總意に解釋すれば「浪衍して」所謂自然の響、「天日や麗かに」天然の日の麗かさが、繪の樣に眼前に彷彿である自然の響、天然の日輪の輝きが對照的着眼はそれであつた。

片よりて流れる水の寒さ哉　青陽人

此句は全体から見て批難のない、人心に擬して見た所に面白味あり「寒さ哉」が確的に描寫されてある。

物植ゑし土に水やる霞哉　冷風

句は漸次好く表現されてある「物植ゑし」「土に水やる」「霞哉」句切がよく示されて始終運びにゆつたりして春らしい氣分が充分にうかがはれる。

賣る鐘を子のたゝき居り水温み　峻峰

「水温み」とは春の一日（明譽語）を指したもので、「賣る鐘を」の句切は「子のたゝき居り」と云ふ点に一考を挾めば「賣る鐘を」とは所謂幾何の錢を出して撞かせる事であつて、子を連れて一日遊山に浸つた事が連想される

雲も水もたゞ繞り居し晝寢哉　幽香

作者が二年間俳壇を離れて今茲に思ひ直して返り咲きした句たゞ見てさい想像に領かれて相當に根强き趣向に凝らず、輕く感じられ、映り易き点に此句の全旨が生々しく思はれる。

× ×

橇の鈴ほのゞ來る大吹雪　未完

貸家案内

白銀町　商店向　二十圓
同　勤人向　七圓五十錢
仲間町　商店向　十圓
同　勤人向　四圓五十錢
同　商店向　八圓
同　勤人向　五圓五十錢
鷹匠町　同　五圓五十錢
柳町　勤人向　七圓五十錢
内郷村小島　勤人紳士向　十圓
風呂場附八圓

白銀町　加藤營業所

△共存ト共榮
△簡易ノ金融
△趣味ノ貯蓄
△誠意ト堅實

大東京　北海道　朝鮮　臺灣　滿洲
磐城無盡商會
内郷　平町　小名浜
△至ル所ニ取扱所アリ
△何時デモ申込下サイ
△絶エズ會員ヲ募リマス

貸家あり
住宅向き
商店向き
委細面談
平町新川町
中野勇吉

鳥季節御料理
柳川
舞子井
仕出しは迅速配達致します
平町南町平館隣り
鰻蒲燒
魚榮
電話四二四番

當選御禮

内郷村會議員改選に當り不肖をも顧みず立候補致候處各位の多大なる御同情により當選致候段厚く御禮申上候先は不取敢乍略儀以紙上御挨拶申述候

内郷村小島
佐藤三平

御見舞御禮

去る四日事務所類燒の際は早速御駈付消火に御盡力を賜り難有奉感謝候御蔭樣にて全燒を免れ特に事件關係書類等は手早く安全地点に持出し擁護致せし爲め一切損傷無之候間御安心被下度混雜の爲め御伺漏れも可有之と存じ紙上を以て御禮申上候追而小生の負傷は全治致候に付御放念被下度候

昭和四年六月九日
平町字田町大通り（假事務所）
辯護士　山野邊義政

内臟外科專
骨關節外科
整形外科門　藤本順
產婦人科　木村寅次郎
外科
產婦人科
木村病院
平町新川町（電話一六四）

氷水開業廣告

弊店事蒲鉾製造販賣を開業以來各位の特別なる御引立を蒙り候段厚く御禮申上候夏期中は蒲鉾製造を休み氷水販賣に從事する事と相成申候につき何卒御用命御引立の程願上候

平町一丁目
藤寅
電話百四十一番

アイスクリーム、ミルクセーキ
其他清涼飲料物（出前迅速）

ユラノスケ粕取燒酎發賣
二合白瓶二十五錢（空瓶交換仕候）
平町四丁目平驛通り
永山酒造店總發賣元
電話二〇七番

當選御禮

内郷村會議員選擧に際し各位の深甚なる御同情により當選致候段奉深謝候小生素より短才その器に非ずと存ぜられ候も將來誠心誠意村治に盡瘁し各位の御期待に添ふ覺悟に候先は不取敢以紙上御禮申上候

内郷村小島
加藤丈夫